

## 消化器内科

### 【診療科概要】

部長	田中 究 (たなか きわむ)
内視鏡室室長	柳谷淳志 (やなぎたに あつし)
医師数	常勤医師 6名
資格等	総合内科専門医 (日本内科学会) 3名、指導医 4名 消化器病専門医 (日本消化器病学会) 4名、指導医 2名 消化器内視鏡専門医 (日本消化器内視鏡学会) 4名、指導医 3名 認定肝臓専門医 (日本肝臓学会) 3名 がん治療認定医 (日本がん治療認定医機構) 2名

食道・胃・腸・肝臓疾患、腹痛・便通異常・食欲不振などの原因検査を担当。地域がん拠点病院の強みを生かし、胃がん・大腸がん・肝がんなどの5大がんや、食道がん・膵がん・胆道がんなどの難治がんに対して、先端の診断技術や治療法を取り入れ安全かつ安心を第一義に診療に取り組んでいる。特に、

- 1) 早期胃がん・早期食道がん・早期大腸がんの多くの患者様に対し、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)という先進内視鏡治療を日常的に行っており、安定した成績をおさめている。
- 2) 若年者に多い難病の炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎とクローン病)に対し、免疫調整剤やレミケードなど新しく適切な治療法で、多くの患者様の治療を行っている。

### 【一般目標】

新医師臨床研修の2年間を終えた後、専攻医として、さらにより専門的内科診療技術を修得するため、あるいは総合内科専門医・消化器病専門医・消化器内視鏡専門医・認定肝臓専門医などをめざす。

### 【行動目標 (内容・方法)】

「鳥取大学総合内科専門医プログラム」の関連施設として、日本内科学会認医制度審議会の定める「新専門医制度 研修カリキュラム」に準じた研修を行う。

臨床医学の進歩と社会・医療のニーズに対応できる医療人となるために、研修期間に応じて、総合内科、消化器病学、糖尿病・内分泌・代謝病学、呼吸器病学、血液病学、腫瘍病学および感染症学における基礎的・専門的な知識と技術を修得する。外来診療・入院診療に指導医とともに従事する。また、初期臨床研修医の指導ができる能

力取得を目指す。

**【週間予定】**

	午前	午後	その他
月	外来業務 病棟業務	病棟業務 内視鏡治療、処置など	消化器カンファランス
火	外来業務 病棟業務	同上	
水	外来業務 病棟業務	同上	
木	外来業務 病棟業務	同上	消化器 Cancer board
金	外来業務 病棟業務	同上	内科総合カンファランス